

久門智祐さんの講演のまとめ

文責：安室美陽 (FOS'24)

講演の前半部では、理事として船井財団の同窓会についてのお話がありました。船井財団はこれまでに 150 人近くの奨学生を輩出しており、奨学生の専攻分野やキャリアケースは多岐に渡るため、一人一人が有益な情報を持っています。そのため、最新知識の交換や研究およびキャリア形成に関するアドバイスを得る場として、現地で直接会うことのできる交流会は非常に貴重な機会です。今後は交流会の運営を奨学生が主体となって行うことで、奨学生の意見の反映がしやすくなることが期待されます。

後半部では、久門さんが取り組まれているサテライト配列の研究を紹介していただきました。ゲノム DNA には遺伝子配列やその制御配列、トランスポゾン・イントロンの他に、ゲノムのダークマターと呼ばれる正体不明の配列が存在しています。その一つであるサテライト配列は繰り返し配列から構成される配列であり、セントロメア近傍など特定の場所に局在している一方で、ゲノム全体に渡って存在していることが知られています。サテライト配列に含まれるリピート数は人によって異なり、ある配列はリピート数が多いほど生殖に有利である一方で、リピート数が多いほど一見不利に働く配列も存在しており、このような配列がなぜゲノムに集まっているのかは分かっていません。さらに、これらのサテライト配列は世代を経る際にメンデルの法則に従わず、利己的に増殖することが知られています。このように、サテライト配列はその生物学的意義などにおいて未だに多くの謎が存在していることから、非常に興味深い研究対象となっており、今後のさらなる理解が期待されます。